

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
----------------	----------------------------------

■クロノグラフの使い方

このクロノグラフは、1秒単位の計測で、最大59分59秒まで計測表示します。59分59秒表示後は、再び0秒から計測をはじめます。クロノグラフの秒針と分針は59分59秒計測後も、(B)ボタンを押しストップするまで運針を継続します。

【注意】
クロノグラフは60分経過後も、ストップさせるまで、クロノグラフの針が計測を続けます。計測が終わりましたら、速やかに(B)ボタンを押してクロノグラフをストップさせ、続いて(A)ボタンを押して0秒にリセットしてください。計測を続けると、電池の消耗が続き、お知らせしている電池寿命前に容量がなくなり止まってしまいます。

【クロノグラフ計測】

- (B)ボタンを押すと、計測をスタートします。
- (B)ボタンは押すごとにスタート、ストップを繰り返します。
- (A)ボタンを押すと0秒にリセットされます。

■お取り扱いにあたって

⚠ 警告 防水性能について

- 日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンドイビング）などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10／20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

防水性について					
・りゅうずを引いた状態では、防水性能に関係なく浸水してしまうのでご注意ください。					
・時計の文字板および裏ふたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。					
	(barは約1気圧に相当します)				
名 称	表 示	仕 様			
日常生活用防水時計	WATER RESIST（ANT）	3気圧防水	○	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST（ANT）5bar	5気圧防水	○	○	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST（ANT）10/20bar	10気圧防水 20気圧防水	○	○	×

* WATER RESIST(ANT)△△barはW.R.△△barと表示している場合があります。

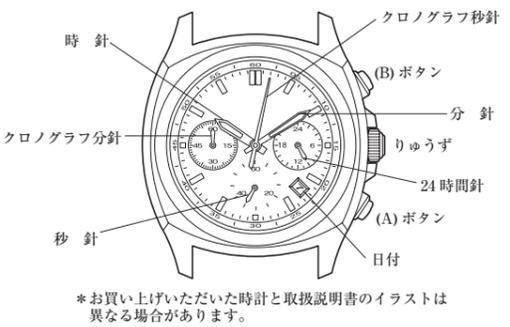
⚠ 注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうずやボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。
- 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
- 万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、ボタンなど）が外れる危険があります。

■商品の特徴

この時計は、操作のしやすいクロノグラフ機能に加え、24時間針を搭載したアナログクオーツウォッチです。

■各部の名称



*お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

■時刻の合わせ方

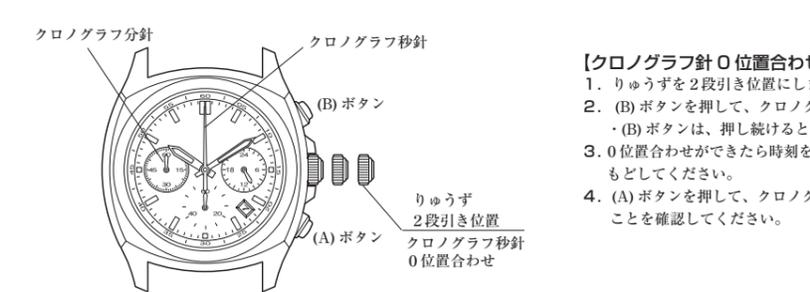


りゅうずがねじロックりゅうずの場合は、ねじをゆるめてから操作を行い、操作が終わりましたらきちんとねじを締めてください。

- 秒針が0秒位置にきたときに、りゅうずを時刻修正位置まで引き出します。
 - りゅうずを回して時刻を合わせます。
 - 24時間針は、時針に連動して回転します。午前、午後をまちがえないように時刻を合わせてください。
 - 時報などに合わせて、りゅうずをきちんと通常位置にもどします。※日付がついていないモデルの場合、りゅうず1段引き位置ではりゅうずの左/右まわしは空まわります。
- 【正確に合わせるポイント】
- 秒針を0秒位置に止めておき、分針を正しい時刻よりも4～5分進めてから逆にもどして正しい時刻に合わせ、時報と同時にりゅうずを押し込むと、正確な時刻に合わせることができます。

■クロノグラフ針の0位置合わせ（電池交換をした後は）

電池交換後、クロノグラフをリセットしたときに、クロノグラフ秒針が0秒位置にもどらない場合や、強い衝撃でクロノグラフ秒針がずれた場合は、次のクロノグラフ針0位置合わせを行ってください。



【クロノグラフ針0位置合わせ】

- りゅうずを2段引き位置にします。
- (B)ボタンを押して、クロノグラフ秒針の0位置合わせをします。
 - (B)ボタンは、押し続けるとクロノグラフ秒針の早送りができます。
- 0位置合わせができたら時刻を合わせ直し、りゅうずを通常位置にもどしてください。
- (A)ボタンを押して、クロノグラフ各針が0位置にリセットされていることを確認してください。

⚠ 警告 電池の取り扱いについて

- 幼児の手が届かないところに置いてください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合にはただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
- 発火、環境破壊の原因となりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください。

⚠ 注意 電池交換について

- 電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換してください。
- 電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

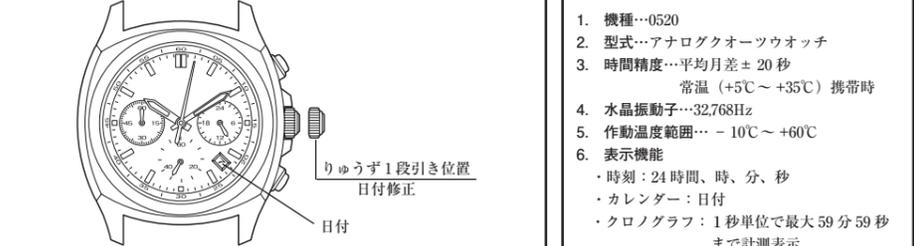
⚠ 注意 時計は常に清潔に

- ケースとりゅうずの間にゴミや汚れが付着したまま放置しておくと、りゅうずが引き出しにくくなる場合があります。時々、りゅうずを通常位置のまま空回りさせてください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。かぶれの原因は
 - 金属、皮革アレルギー
 - 時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

〈時計のお手入れ方法〉

- ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
- 皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。
- 金属バンド/プラスチックバンド/ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 溶剤類（シンナー、ベンジンなど）の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

■日付の合わせ方（日付がついているモデルの場合）



- りゅうずを日付修正位置まで引き出します。
- りゅうずを左に回して、日付を合わせてください。
 - りゅうずを右に回すと空まわります。
 - 時計の時刻が午後9時頃～午前1時頃の間に日付合わせを行うと、翌日になっても日付が変わらないことがあります。いったん、この時間外に針を動かしてから、日付を合わせてください。
 - 日付は31日周りです。小の(月月末が30日と2月末)から翌月の1日へは、りゅうず操作での切り替えが必要です。
- 日付合わせが終わったら、りゅうずを通常位置までもどしてください。

■保証とアフターサービスについて

- 保証について**
保証期間内に、取扱説明書にそったご使用状態で、万一故障が生じた時には、保証書に従い、無料修理いたします。
- 修理用品の保有期間について**
当社は、時計の機能を維持するための修理用品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・バンドなどの外装部品におきましては、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。
- 修理可能期間について**
当社の修理用品の保有期間中は有料修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なりますので、修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によって初期精度の復元が困難な場合もあります。
- ご転居・ご贈答品の場合**
保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
- 定期点検（有償）について**
 - 安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度点検（有償）を行ってください。
 - 防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやパネ棒などの交換を行ってください。
 - 部品交換の際は、純正品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検、または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店、または弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
- 電池について**
お買い上げの時計に使用されている電池は、工場出荷時に機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますのでご了承ください。※電池寿命が切れた場合は、保証期間であっても電池交換は有料となります。
- その他お問い合わせについて**
保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

メモ欄